

2025年度先生方をご支援する取り組みを
もっともっと広げます！



ミライシード公式LINE

ミライシードに関する最新情報がもれなくタイムリーに手に入る！

- ミライシードのリニューアル情報をいち早くお届け！
- オンライン研修やイベントの申し込みも見逃さない！
- 時期ごとに役立つ活用術も配信！

こちらから
友だち登録
いただけます



ミライシード公式YouTubeチャンネル

欲しい動画がすぐ見つかる！旬の教育コンテンツも
すぐ届く！ミライシード公式YouTubeで、
先生の“知りたい”をサポート。

- 先生が語る、音声のみのオリジナル実践コンテンツを視聴できる
- ウェビナーのアーカイブがアップされるとすぐに通知が届く
- 操作方法などの動画が探しやすく、すぐに活用できる

チャンネル登録は
こちらから！



エリアコミュニティ

アットホームな雰囲気で交流しながら、すぐに役立つ実践や
一步先を行く学びに触れられます。ぜひご参加ください！

- 同じエリア内の他校の先生と交流できる
- 様々な実践事例を実践者から直接聞くことができる
- 教育の本質を先生と議論で深掘り

詳しくは
こちらから



2025年度秋版 ミライシード活用事例BOOK

2025年10月1日発行
発行所：(株)ベネッセコーポレーション
小中学校事業本部
※本誌で紹介している教材ラインナップ・デザインなどは
変わることがあります。
冊子作成にあたり、ご協力いただいた先生方に
心から御礼申し上げます。
©(株)ベネッセコーポレーション

先生方のお声をお寄せください！
「2025年度秋版
ミライシード活用事例
BOOK」アンケート
こちらから3分で完了！



2025年度秋版

ミライシード活用事例BOOK



第1特集

秋からの授業でまねしたい！

子どもたちの 「学びたい！」 を育む

オクリンクプラス
授業術



第2特集

学力の引き上げにつなげたい！
ドリルパーク・テストパーク
活用のコツ

ミライシード DXエデュケーター

の先生方の事例も多数！



第3特集

オクリンクプラスすぐ使える！
企業・団体コラボ
コンテンツのご案内

子どもたちの 「学びたい！」

という気持ちを育み
主体的な学びを広げるためにー

この秋から取り組む授業づくりに役立つミライシードの実践例をご紹介します。

子ども主体の学びを実現するヒントとして、ぜひご活用ください。

秋からの授業でまねしたい！

P.3~

子どもたちの「学びたい！」を育む
オクリングプラス 授業術



学力の引き上げにつなげたい！

P.13~

ドリルパーク

テストパーク活用のコツ



秋の研究授業に役立つ！

P.19~

オクリングプラスですぐ使える！
企業・団体×コラボ
コンテンツ



ミライシード DXエデュケーター とは？

詳しくは
こちらから！



『活用事例BOOK』は
ミライシードDXエデュケーターの
先生方の事例も多数ご紹介！

子どもたちが自己肯定感を持ち、自分の将来にワクワクできる社会に。ミライシードでは、我々ネッセと「ミライの教育」を創造してくださる先生を「ミライシードDXエデュケーター」と定め、一緒に活動していきたいと考えています。私たちと一緒に挑戦を続けてくださる先生方の参加をお待ちしております。

子どもたちの「学びたい！」を育む
授業実践事例を多数掲載しています

ミライシードファンサイト

ミライシードファンサイトには、400以上の実践事例を掲載。
学年・教科での検索はもちろん、単元名などフリーワードでの
検索も可能です。明日の授業に役立つ実践探しにご活用ください。



ミライシードファンサイトトップの
活用・実践事例から。



教科・単元でも検索可。
またフリーワード検索では、単元名や
地域などを入れて検索できます。



授業の流れがわかる活用事例、
各アプリの導入背景や
活用メリットがわかる導入事例などを
多数掲載しています。

また、授業の流れがよりわかりやすく
伝わるように動画での事例なども
順次増やしていく予定です。



そのほかにも活用支援動画やマニュアル、
最新のアップデートの情報などファンサイトに掲載。 >>
ミライシードファンサイトはこちらから！



＼秋からの授業でまねしたい！／

子どもたちの「学びたい！」を育む

— オクリンクプラス授業術 —

慌ただしく、難しい単元も増える秋以降の学習で、子どもたちの主体性を伸ばす授業を実現するための工夫と「オクリンクプラス」の活用例をご紹介します。



心理描写や情景描写が複雑な物語文を興味を持って読ませたい！という課題に！
「作業しながら、人物背景理解を広げる」読解のフルパッケージ

P.5～



身近ではない学習テーマ。複雑な情報を自分ごと化できない！という課題に！
自分の「推し」を考え発表！クラス全体で盛り上がる！

P.7～



数的感覚が身についていない低学年。比較がうまくできないという課題に！
イラストを動かして思考を整理！小1引き算のつまずき解消法

P.9



理解の状況が幅広く一斉の指導では興味を広げられないという課題に！
自由進度学習で育む主体性。オーダーメイドの社会科授業

P.10



子どもによって物語を読み理解する時間に違いがある！という課題に！
家庭学習で一人ひとりのペースにあわせて読解し、登場人物の気持ちを考える

P.11



英語で説明する力を伸ばすために楽しく取り組める導入を考えたい！という課題に！
班で取り組むメンバー集めを通して協働的に説明する力を伸ばす！

P.12

＼ご注意ください！オクリンク・ムーブノートがまもなく終了します。／

オクリンク・ムーブノートの後継アプリ オクリンクプラスをご活用ください。

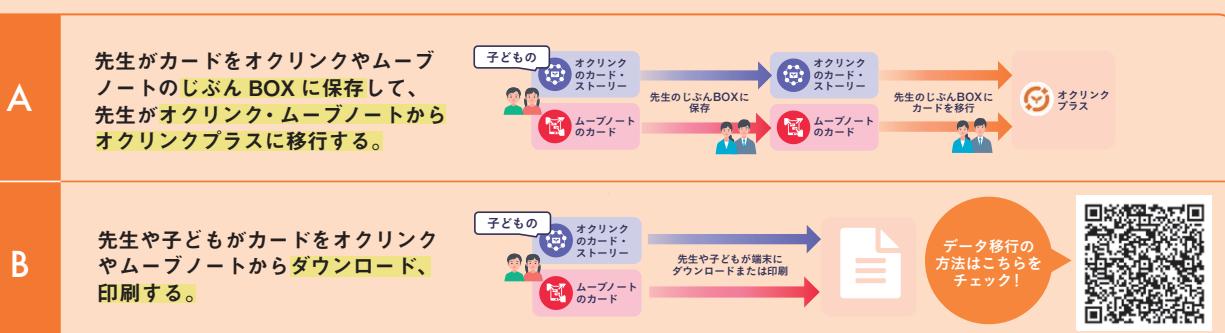
オクリンク・プラス

機能項目	オクリンク	ムーブノート	オクリンクプラス	オススメポイント
カード共同編集	×	×	○	共同編集ができるようになって意見交換や班活動が活発になります！
個人⇒集団の切り替え	×	○	○	ボードで個人・集団の切り替えが手軽にできるので、他者参照での学び合いが進みます！
子ども同士のコメントやイイネ！のやりとり	×	○	○	リアクションボタンを使った手軽なやりとりが、話し合いの活性化に最適です。
サイズや縦横比の変更	×	○	○	カードのサイズも変えられ、自由な表現で考えを広げられます！
フィードバック機能	○	○	○	一括でスタンプを押せてフィードバック。時間をかけずに個別の評価を実現！
集計機能	×	○	○	提出されたものの傾向の確認はもちろん、子ども自身で集計・グラフ化することでレポート作成にも活かせます。

Q オクリンクでつくったデータは再利用できるの…？

A 再利用できます！

子どもの作成したカードやストーリーにつきまして、オクリンクプラスで継続利用したい場合は、下記のA・Bいずれかを実施してください。必ず所属自治体のオクリンク・ムーブノートの契約終了またはサービス終了までに実施してください。契約終了後、サービス終了後はいかなる理由でもデータを復元することはできません。



「いつか、大切なところ」

国語の読解指導をパッケージ化。 語いから心情理解へつなぐ授業

読み方の型に従って物語文を読み進められるよう、あらかじめ用意しておいたカードをもとに授業を展開しました。クラスの状況に合わせて、カードに個人で取り組ませてその後「みんなのボード」や提出ボックスで共有でも、「みんなのボード」で最初から共同編集で取り組ませてもどちらでも可能です。

すべての授業をオクリンクプラスで取り組んでもよいですし、一部分だけでも取り組むことも可能です。

事前準備

物語の流れに沿って、読み解くうえでポイントとなる部分ごとに、問い合わせやヒント、思考フレームを配置したカードを用意しておく。

カード0

全体の進め方を把握する

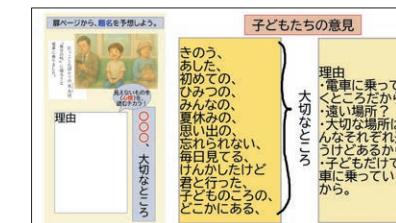
全体の進め方マップを最初に確認し学習のポイントをつかむ。



カード1

扉ページから作品の題名を想像

カードに題名を想像して記入し発表。



カード2

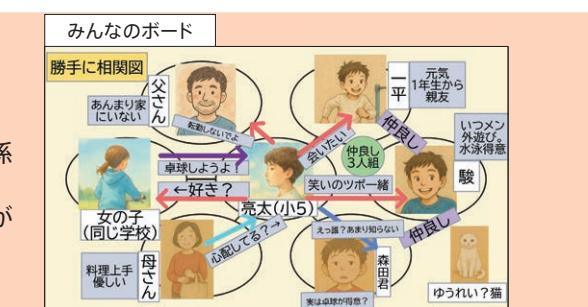
大まかなあらすじの把握

あらすじのポイントを話の順番で並べ替える。ストーリーの大きな理解を確認。

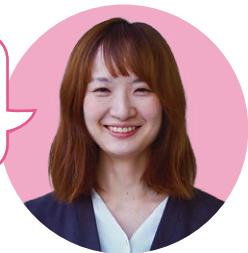
オクリンク
カード3

登場人物の相関図の確認

登場人物のイラストを貼り付けておき、その関係性については子どもたちが考えて入力する。クラス全体で盛り上げるために、画面に映しながらアイデアを共有する。



用意したカードを使って活動していくと、自然と「読み方のテクニック」が身についていく仕組みです。カードをもとにタブレットを多用して授業を展開するので、個人思考、共有・他者参照、意見交換等が気軽にでき、協働的な学びにいっそうの時間を使ってることができます。



北海道平取町立
平取小学校
高橋 七美先生

基本的な流れ

「マイボード」で個人思考

「みんなのボード」で共有・意見交換

時には、いきなり「みんなのボード」上で協働的に活動することも。

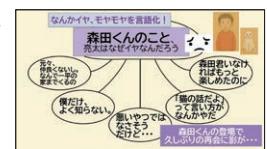
オススメカード4

主人公のペルソナや想いの確認／物語のキーパーソンである「森田くん」についての分析

4分割のフレームを作成しておき、主人公の気持ちについては、子どもたちが入力する。



カードには命題(紫の图形部分)だけ作成しておき、表現の仕方は児童一人ひとりに任せる。



オススメカード5

主人公の感情についての予想

「キーワード集計」でクラスメイトの考えを可視化!



「ピン集計」でクラスメイトの考えを可視化!



情景から主人公の心情を想像するためのテクニック

この単元で身につけたい「物語文の読み方テクニック」について、1枚にまとめたカード。ここまで考えてきたことを参考にしながら、このテクニックを活用して物語を読み進めるよいことを説明する。



カード6

主人公の気持ちについての分析

「みんなのボード」でみんなと一緒に考える。



「マイボード」の心情メーターで自分の考えを表現する。



カード7

まとめ

題名の意味について、「みんなのボード」で他者参照する。

「キーワード」集計も!



最後に、物語の続編という設定で、数年後の登場人物に宛てて手紙を書いて完了。



脱! 単調な知識の詰め込み 「推し活」で自分ごと化

日本の発電方法について、オクリンクプラスで調べる理科の実践です。メリット・デメリットを比較し、自分の「推しの発電方法」を考え、意見を共有。複雑な情報から自分の意見をもち表現する力を身近なテーマで育む授業を紹介します。

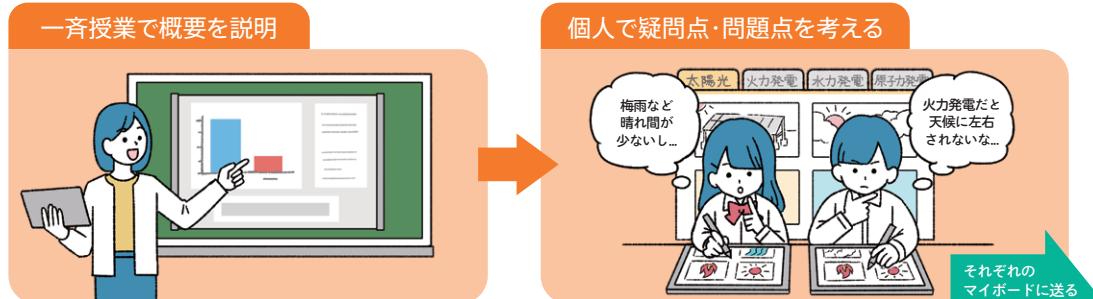
事前準備

発電方法ごとのボードを作成しておく。また、投票用のカード(選択肢集計を行う前提のもの)と、発電方法アイデア出し用のカードを用意し、全員の「マイボード」に送っておく。

1

一斉授業で概要を説明し、個人思考する

- 先生>6つの発電方法の概要をクラス全体に説明する。
- 個人で、それぞれの発電方法に対する疑問点や問題点を「マイボード」上のカードに記入し、該当の発電方法のボードに送る。なお、それぞれの観点は「長所」「短所」「発電効率」「設置条件」に指定する。



2

割り当てられた発電方法の疑問点・問題点について、グループで考える

- 6つの班に分かれ、自分の班に割り当てられた発電方法のボードに移動する。
- 寄せられた疑問点や問題点のカードを分類・整理したうえで、それぞれの内容に沿った回答を考える。
- グループごとに、クラス全体に向けてプレゼンを行う。



共有コードは
こちらから



オクリンクプラスの共有コードTOP→共有コードを入力するから
QRコードを読み取ってください。

基本的な
流れ

「マイボード」で
個人思考

「みんなのボード」で
グループ活動

そして 「推し活」で
クラス
全体で盛り上がって...

最後に
振り返り!

生徒にとって身近な「推し活」という設定で、楽しく学べるよう工夫しました。理由を持って「推し」を決めたり、「集計」機能を使って友達の考えと比較したりするなかで、全員が授業内容を自分ごと化できたことで、主体的に単元理解を深められたと思います。



長崎県東彼杵町立
東彼杵中学校
中村 雅子先生

POINT

3

自分の「推し」の発電方法を選び、投票する

- 各班によるプレゼンを聞いたら、「マイボード」に送られた投票用カードを開く。
- それぞれ自分が「推したい」と思った発電方法を選択肢から1つ選び、その理由を入力する。
- 先生>「選択肢集計」で、どの発電方法が最も人気だったのか投票の結果を共有する。



盛り上がると同時に、自分の「推し」への愛着がわき、理解が深まります。

「推し」を見つけるためにはすべての発電方法のメリット・デメリットの理解が必要なので、生徒はそれぞれの班のプレゼンを集中して聞き、自分ごととして受け止めます。

投票用カードで「推し」を選出。

どの発電が自分は一番良いと判断しますか？

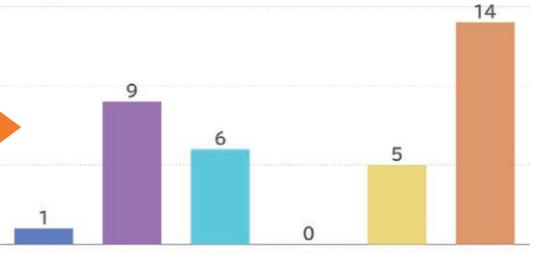
- どの発電を推しますか？
- 火力発電
 - 水力発電
 - 風力発電
 - 原子力発電
 - 地熱発電
 - 太陽光発電

その理由を書きましょう

場所は必要になるけれど、元々ダムは水をせき止めるために今まで必要なもので、あつたので、ダムを利用するなら問題ない。エネルギー変換効率も高く、環境への影響も少ないから

投票結果を共有する

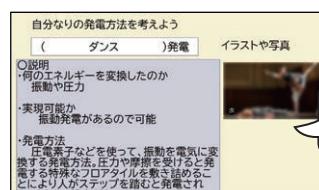
どの発電を推しますか？



4

発電方法について、個人で総括しつつ発展的に考える

- 自分が発電において重視したいと思った点(環境への影響が少ない、発電効率など)をもとに考えた、新たな発電方法のアイデアを「みんなのボード」に送る。



発電方法をアイデア出し用の
カードに入力する。

イラストを動かしながら式と答えを考える

実際にタブレット上で手を動かして情報を整理しながら、「物と物の数を比べる場合のひき算」のやり方を理解・定着させることをゴールとしました。



兵庫県宝塚市立
末広小学校
中島 優太先生

タブレットは、手を動かしながら考える活動に向いています。ほかの児童の考えた過程が残るので、新しい視点を得たうえで解き直しができるのもよい点です。

共有コードは
こちらから



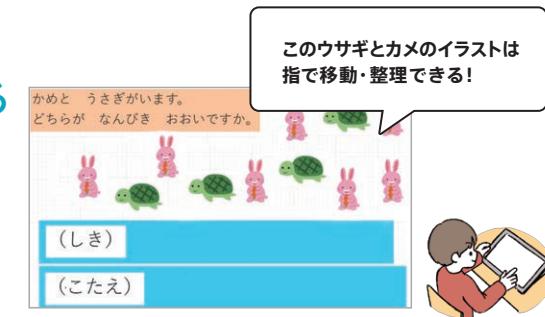
オクリングプラスの共有コードTOP→共有コードを入力するからQRコードを読み取ってください。

事前準備

問題とそれに関するイラストをバラバラに配置し、さらに式と答えの記入欄を貼り付けたカードを何種類か用意し、全員の「マイボード」に送付しておく。

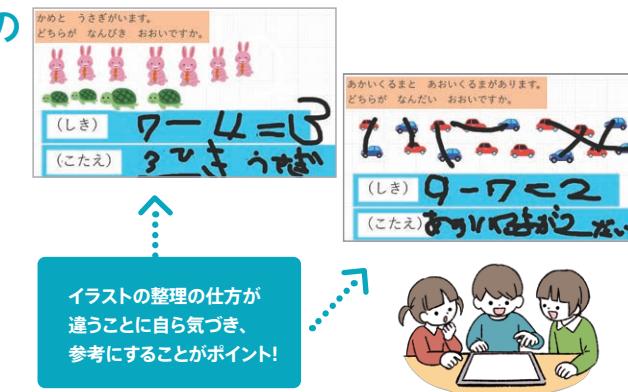
1 「マイボード」で、実際に手を動かしながら式と答えを考える

- 「マイボード」に配付されたカードを開く。
- それぞれのやり方でイラストを整理しながら式と答えを考える。



2 「みんなのボード」で、ほかの児童の考え方を知る

- イラストを整理し、式と答えを入力したカードを「みんなのボード」に送る。
- 共有された友達のカードを確認し、自分とは違うやり方があれば、そのやり方で改めて問題を解いてみる。



類似事例のご紹介

手を動かしながら情報を整理する活動はどの学年・教科でもオススメ！

小4 英語



アルファベットを並べ替えながら小文字との読み方に慣れ親しんでもらう。
ALTによる読み上げでアルファベット一つひとつの発音を確認したうえで、アルファベットを並び替えて単語を作るという体験をしてもらいます。



小1 生活



夏の屋外散策で見つけたものの整理をしながら操作に慣れる。
子どもたちは、屋外で見つけたものをデバイスで撮影し、カードにはりつけます。それを整理していく、基本的な操作を身につけていきます！



みんなで決める 自由進度学習のテーマ



千葉県流山市立
小山小学校
羽田 優先生

導入としてのガイダンスを丁寧に行なうことで、小学校問題の設定から調べ学習、振り返りまで、一貫して児童主体の学習を実現できました。

学習で使用した
単元計画表を
共有コードに
しました
こちらから



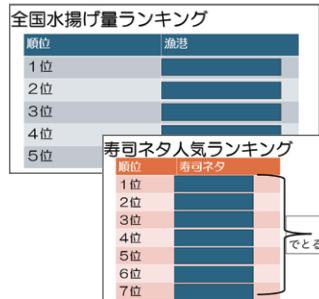
オクリングプラスの共有コードTOP→共有コードを入力するからQRコードを読み取ってください。

事前準備

冒頭で提示するため、単元に関連する資料(写真やランキングなど)を貼り付けたカードを用意しておく。

1 「魚に関する情報を提示し、児童の学習意欲を高める

- 先生>「マイボード」に用意しておいた資料を開き、画面共有したものを電子黒板などに映しながら、説明したり、質問したりして児童の興味・関心を向かせる。



このランキングを見て
気づいたことはある？



2 学習問題(単元を通したメインテーマ)をクラス全体で決める

- 先生>以前行った「農業の大切な点」を復習するなどして児童の考えを引き出し、単元を通した学習問題(メインテーマ)をみんなでつくり上げる。



3 小学習問題(メインテーマを解決するための小テーマ)を「キーワード集計」を用いてクラス全体で決める

- 単元を通した学習問題(メインテーマ)を解決するために調べたいこと、調べたらよいと思うことを、それぞれが「マイボード」のカードに短文で入力する。
- 入力したカードを「みんなのボード」に送る。
- 先生>「キーワード集計」を行い、児童と話し合いながらいくつかの小学習問題(小テーマ)を設定する。



「キーワード集計」で子どもたちの考えを可視化。その結果を参考に、小学習問題(小テーマ)を設定する



「ごんぎつね」

家庭学習での
オクリンクプラスの活用で
個別最適に読解の力を伸ばす

意見の違いに根拠を示し合い、クラス全体で納得解をつくる過程を重視しています。一人ひとりが自分のペースで物語を読み、感じたことを考える時間を家庭学習に設定しました。



京都府宇治市立
宇治小学校
伴 昌也先生

個々のペースに寄り添いながら、家庭学習と授業を連携させることで学びをより充実させたいと考えています。

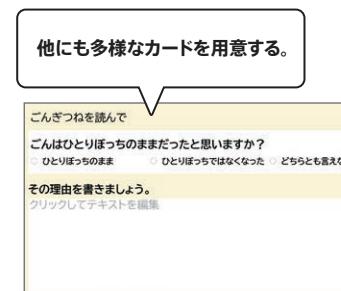
構想中を取材!
実際の授業はこちら
今回作成した
そのほかのカードも
ご覧いただけます



事前準備

納得解をつくるためのツールとなるようなカードを複数枚用意する

1 ごんのねがいはどうなりましたか?
についての納得解をつくるため、
個々の気付きを整理する。



2 自分なりの答えを説明するため
のカードを決め、学習の見通し
をもつ。

■ 納得解をつくるためのツールとなるようなカードを、
カードBOXに準備しておく。

3 家庭学習で選んだカードに取り
組む。「みんなのボード」に提出。

■ 家庭学習と授業を連携させ、話し合い
を進める。



授業づくりをご支援しました!



子どもたちが問い合わせを立て、自ら調べていく過程を支援するため、複数の関連カードの作成をお手伝いしています。子どもが自分の興味や視点に合ったカードを選べるよう工夫することで、学びの入口を広げ、興味を持って取り組みやすくし、迷わず活動に入れるようサポートしたいと考えています。(ICTサポート 飯田 彩海さん)



英語で理由を説明する

共同編集で英語で
理由を伝える力を伸ばす

北海道千歳市立
勇舞中学校
柳澤 知優先生

おすすめする理由を説明する
というパフォーマンステスト
を実施する前に、理由を英語
でまとめる練習として取り組みました。

構想中を取材!
実際の授業は
こちら!



メンバーの特徴が書かれたカードを合計8枚作成。事前準備のときは授業を「非公開」に設定。生徒には授業内容が公開されず、班の人数に合わせてカードを調整して配付できる。

事前準備

1 メンバーカードの配付

■ 授業を「非公開」から「公開」に変更すると授業が生徒に公開されて、カードも班のボードに配られる。カードには、架空の人物の特徴が書かれている。班で決めた施設を運営するために、どの人物をメンバーに選ぶかを話し合い、決定する。

授業の設定については
こちらから!

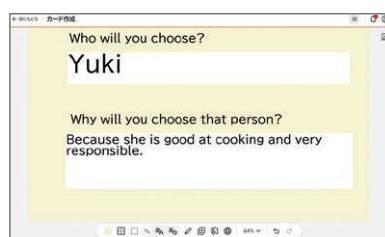


メンバーカードは各班に4枚送る。
「非公開」で授業を作り、準備していくことでスムーズにできる。



2 選んだ理由を記入

■ 選んだカードの下に、「なぜその人物を選んだのか?」という理由を英語で記入する。



授業づくりをご支援しました!



先生からは、「班ごとの人数に合わせてカードを配りたいが、授業の冒頭で考えて配ると時間がかかる」「カードを見せるタイミングは一斉にしたい」というご要望がありました。そこで、授業を「非公開」にしておく機能をご紹介しました。これにより、事前にカードを準備・配付でき、授業の進行がスムーズになります。(ICTサポート 中畠 友美さん(写真左))



学力の引き上げ につなげたい! ドリルパーク・テストパーク 活用 のコツ

POINT 1

できるまで 「学び直し」で繰り返す

子ども一人ひとりの習熟度に合った問題に取り組むことができるデジタルドリル。「できなかったところを、できるようになるまで繰り返し解く」を実現できます。

POINT 2

AI個別対応で 理解度引き上げ

AI 対応のドリルは解答時間や正誤に合わせて出題内容が変化。1学期の理解度に合わせたやり直しAI対応ドリルなら手軽にできます。

POINT 1

主要教科書の全単元で 観点別に学力を測定

豊富な解答形式で、知識・技能の定着を確認する問題から、思考力を測定する問題までバランスよく出題してくれるテストを収録。観点別に学力を測定できます。

POINT 2

自動採点 & 設問毎採点 で採点時間を短縮

8割以上の問題が自動採点対象であるため、採点の時間を大幅に圧縮。また、採点が必要な問題も設問ごとの採点機能などで、効率よく採点できます。



POINT 3

定期的な課題配信での 学習習慣づくり

ねらいに合わせた問題を簡単に課題配信することが可能。定期的な取り組みにすることで、正しい学習習慣づくりや乱れた学習習慣の立て直しに役立ちます。

POINT 3

テスト実施後、 すぐに返却・振り返り

最短でテストを実施した授業内での返却が可能。記憶が新しいうちに間違えた箇所を把握し、振り返ることで知識の定着につながります。

理科

小6

テストパークとドリルパークの併用・授業時間内定着

単元の終わりの
1回の授業で
3回の基礎の復習を実現長野県長野市立吉田小学校
佐藤幹子先生

Step 1 最初はゲーム感覚でできる小テスト。子どもたちは楽しみながら取り組めます。



Step 2 テスト形式の「テストパーク」では、すぐに採点結果が確認でき、できなかったところがわかります!



Step 3 間違えたところや不安だったところをすぐに「ドリルパーク」で復習。

「ドリルパーク」と「テストパーク」の活用で
子ども起点で弱点に気づけるチャンスが増えた

異なる形式で繰り返すことで、知識の定着がぐっと高まりますし、『ここが不安だった』という気持ちをすぐに振り返って解消できるのが、子どもたちにとってもうれしいようです。

「ドリルパーク」も「テストパーク」も準備に手間がかからないので手軽に基礎確認の機会を増やせます。

負担を
減らしたい!
先生必見!ico テストパーク
活用のポイント

テストにおける学校課題



先生の採点負荷

- テストの採点や成績処理に多くの時間がかかる。
- テスト結果を分析し、クラスや個人の得意ニガテ把握や個別のフォローをしたいが、手が回っていない。



テスト後の学習フォロー

- 結果返却までに数日空いてしまうことも多く、返却された時には点数以外に意識が向きづらい。
- テスト後の振り返りや解き直しの効果を高めたい。

先生の
業務負荷を
軽減する
複数の機能

教科書の主要単元の確認テストを収録。クラスと配信したいテストを選ぶだけで簡単にテストが開始できます。



8割以上の問題が自動採点。丸つけの時間を大幅に圧縮できます。部分点つけも可能です。

子どもの
学力向上に
つなげる
テスト受験後の
サイクル

オリジナルの問題を作成し、テストを自由に構成できるため、より柔軟なテスト運用ができます。



実施したテストの結果は教科ごとに一覧で表示。観点別の得点率や子どもの受験状況もひと目でわかり、成績処理の手間を省けます。



苦手な箇所や間違えた問題の模範解答をそれぞれ確認・解き直しすることで、復習効果を高め、苦手の克服につなげます。

数学

中学校

家庭学習を「ドリルパーク」に切り替え!

徐々に主体的に
学ぶ力を育む
学年別の家庭学習設計東京都江戸川区立
小岩第二中学校1
年生

迷わず取り組めるように
サポート
家庭学習の進め方に不安
がある1年生には、家庭
学習用の課題を配信。定期
テスト前には、テスト
対策専用の問題も配信し
ています。

2
年生

毎日30分、自主性を育む家庭
学習
家庭学習として毎日30分のド
リルパークへの取り組みを課
しています。内容は生徒の自
主性に任せ、主体的に学ぶ力
を育てます。

3
年生

受験を見据えた柔軟な学
習スタイル
通塾する生徒も増える3
年生は、毎日ではなく週3
時間の取り組みに変更。
自分で学習計画を立てな
がら進められるよう促し
ています。

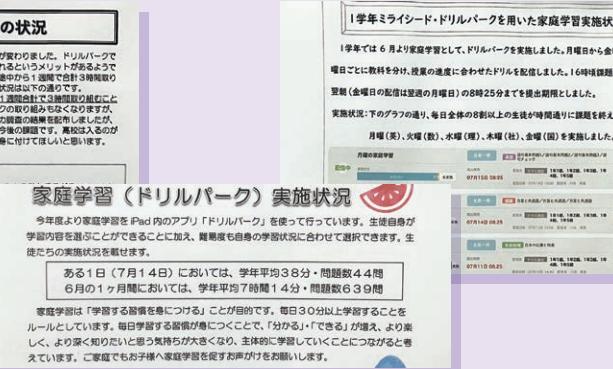
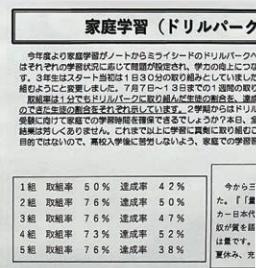
学年ごとに最適な方法で
業務効率化と学習習慣の定着をめざす

昨年度までは家庭学習ノートの提出でしたが、今年度からはドリルパークに切り替え。

学年ごとに最適な課題の出し方を工夫し、学習習慣の定着を目指しています。

また、定期考査前には朝読書の時間（10分）をドリルパークの時間に変更。

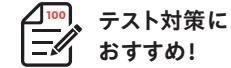
取り組み内容は子どもの主体性に任せていますが、定期テスト対策ドリルの活用も増えてきています。

活用状況を
学年だよりでも
紹介!

テスト前のこの時期に!
ドリルパーク搭載
「定期テスト対策ドリル」を
利用してみませんか?

ドリルパーク.....
定期テスト対策ドリル

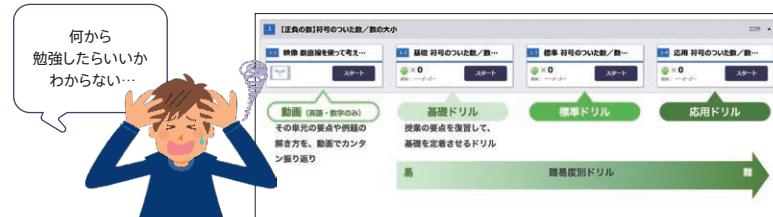
1回 15分

テスト対策に
おすすめ!

ドリルパークに定期テスト対策が効率的にできるドリルが登場。

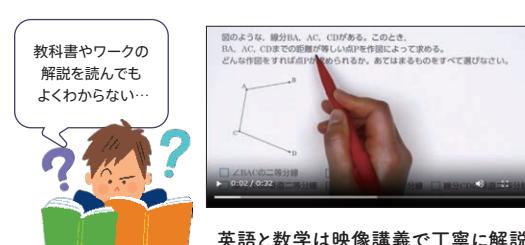
基礎力の定着やニガテ攻略、授業の振り返りだけではなく、
テスト対策にもドリルパークをご活用ください。

✓ 自分に合ったレベルで学習できる!

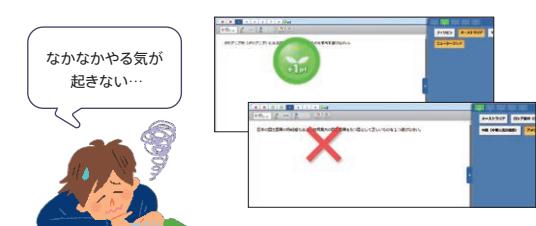
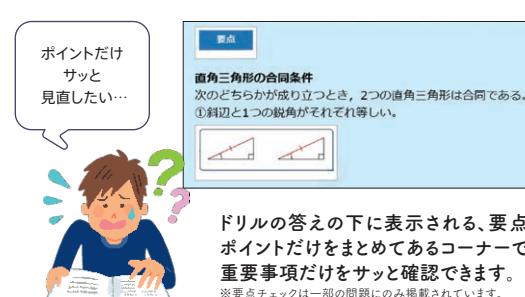
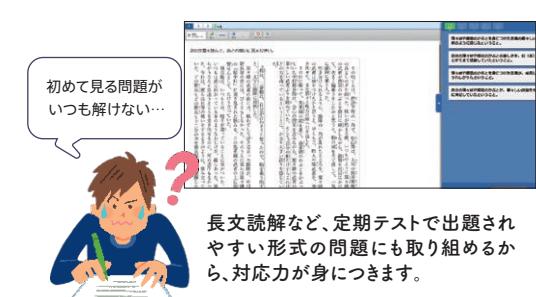
「基礎」「標準」「応用」
3レベル設定。基本からしっかり確認したい時には
「基礎」、力だめしをしたい時は「応用」
からなど、自分に合ったレベルを選んで
学習できます。

※単元によって搭載されるレベルが異なる場合があります。

✓ 映像講義でしっかり理解! 数学・英語

英語と数学は映像講義で丁寧に解説。
例題を用いた要点&解き方解説でし
かり理解できます。

✓ 自動採点だからサクサクできる!

1回約15分、しかも自動採点*だから、
短時間で良質な問題に取り組めます。
※文書記述問題などは自己採点です。✓ 間違いややすいポイントは
要点チェックで確認ドリルの答えの下に表示される、要点・
ポイントだけをまとめてあるコーナーで、
重要事項だけをサッと確認できます。
※要点チェックは一部の問題にのみ搭載されています。✓ いろいろな出題形式への
対応もバッチリ!長文読解など、定期テストで出題され
やすい形式の問題にも取り組めるか
ら、対応力が身につきます。

オクリンクプラスで すぐ使える! 企業・団体コラボ コンテンツ のご案内



2025年5月に提供を開始した「企業・団体コラボコンテンツ」。もうご覧いただけましたか?教科書で学ぶ内容と実社会の課題や仕事をつなげることで、より子どもたちが“自分ごと”として捉え、探究できるようにしたい、という思いで生まれた事業です。ミライシードに寄せられた先生方のお声を元に、企業・団体の取り組み活動を教材化しております。

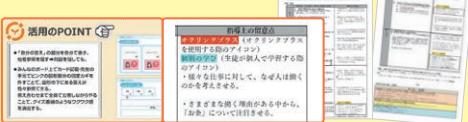


教材の詳細はこちらからご覧ください!

現役教員の監修つきでわかりやすい!

指導案

単元の進行はもちろん、スライドやワークシートの使い方のポイントがわかる指導案もセット!



オクリンクプラスでの効果的な活用法がすぐわかります。

現役の公立小・中学校の先生による監修で使いやすい。



印刷・配布の手間なく使える!

カード

社会の“生”に触れる! 講義スライド



実際の開発現場の想いや工夫の動画なども。

協働的な学びを深める! ワークシート



集計機能やコメント機能などふんだんに使えます。

指導案とカードがセット。1時間からでも使いやすい設計です。

2学期の単元にぴったりなコンテンツ も! 現在お使いいただけるラインナップ

企業名	オハヨー乳業	LINE みらい財団	ZOZO	岡山県警察	ジブラルタ 生命	JR東海	トヨタ自動車	野村 ホールディングス
学年・時期	小5・2学期	小1～中学・通年	小4～6・通年	小4～6・通年	小5～中学・2学期	小2・7月	小5	中1～3・通年
教科	社会	総合・道徳	総合	総合・道徳	家庭科・総合	算数	社会	総合・特別活動
テーマ	食料自給率について考えよう	端末の使い方とSNSへの理解	キャリア教育	インターネットやSNSの使い方	物やお金の使い方	リニアで時刻と時間を学ぶ	自動車をつくる工業	職場体験(金融×キャリア)
ねらい	日本の食料生産の課題を調べ、酪農をテーマに疑問を出し合い、学習問題・解決策を考えることができる	学年段階別のワークやクイズを通して情報モラル・活用能力を育成。安全にネットやSNSを利用できるようになる	様々な業種がそろっているZOZO社員の話を聞いて、「働くこと」について考える	インターネットやSNSの上手な使い方について理解し、正しく使おうとすることができる	生活における必要性や計画性を考えることを通して、適切に活用する能力と態度を育てる	日常生活にあてはめながら時刻と時間の違いについて理解できる	日本の自動車工業に关心を持ち、自動車生産の量と質を担保するための働く人々の工夫や努力を理解することができる	労働とお金、社会の関係について、実生活と結び付けて理解することができる
コンテンツ								

オクリンクプラスで すぐ使える! 企業・団体コラボ 一部をご紹介!

野村
ホールディングス

中1～3・通年

総合・特別活動

企業コラボコンテンツのラインナップから、職業体験を行って終わりにしない!事前事後学習までできる「野村ホールディングス」とのコラボコンテンツのポイントをご紹介します!

コラボコシティシッツのねらい

職場体験の事前準備をバージョンアップ!

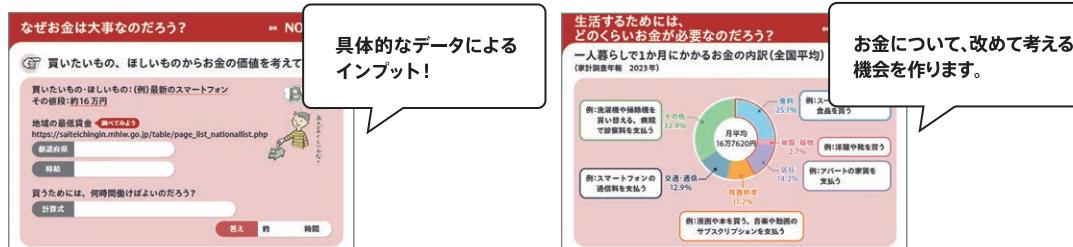
「なぜこの職場を選ぶのか」「何を学びに行くのか」といった目的意識を明確化。また、「お金の大切さ」「労働とお金の結びつき」「社会におけるお金の流れ」などを学び、職場体験の意味を金融・社会の視点から深めます。



事前学習

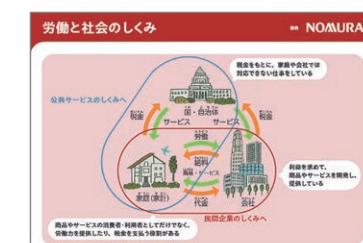
1 お金の大切さを考える

活動内容 自分の生涯で使うお金をイメージし、働くことと結びつけて考えます。カードにまとめた意見をボードに共有し、分類や集計を通して全体像をとらえます。



2 社会のしくみとお金の流れを学ぶ

活動内容 民間企業と公共サービスの違いを資料から読み取り、ボード上で分類します。お金が社会でどのように循環しているかを整理し、日常生活と結びつけて理解を深めます。



POINT

「社会における役割分担」を仲間と議論することで、働く意味を多角的に考えるきっかけとする。

！ 安部先生のヒント

問い合わせて臨むことが大事です。『なぜこの職場か』『何を見たいか』を考えると、生徒は見学者ではなく探究者になり、体験が深まります。



共有コードの
コピーは
コチラから!

中学校の職場体験は、キャリア教育として重要な機会。ただ「行って終わり」ではもったいない!事前と事後に教材をざっと加えることで、生徒たちの思考が自発的に動き、「働くこと」への理解がより深く育ちます。協働学習による学びの深化も期待できます。



ミライシードDXエデュケーター
青森市公立中学校教諭
安部 慎也先生
日本金融教育支援機構教員アンバサダー

職場体験

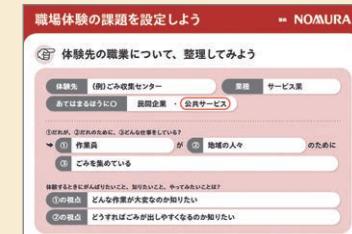
3 職場体験に向けた課題を設定する

活動
内容

これまでの学びをもとに「なぜその職場を選ぶのか」「何を学びたいのか」をカードにまとめ、提出BOXに送ります。個別の課題意識を持って体験に臨む準備を整えます。

POINT

一人ひとりが“オンリーワンの課題”を持つことで、体験が見学ではなく探究へと変化する。



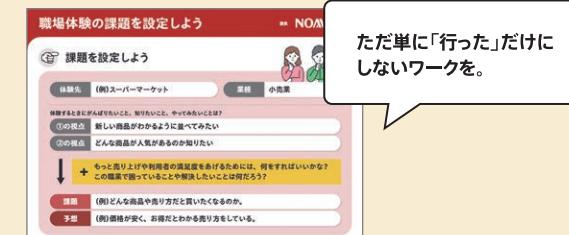
4 課題解決に向けて実践する

活動
内容

設定した課題を意識しながら実際の仕事に挑戦します。顧客や社会に向けて働く体験を通して、売り手側の視点を学びます。

！ 安部先生のヒント

例えば“売り手側”を経験すると、普段見えない社会やお金の流れに気づけます。お金がかかわらずとも、役立てた実感は、自己肯定感の向上にもつながります。



ただ単に「行った」だけにしないワーク。

事後学習

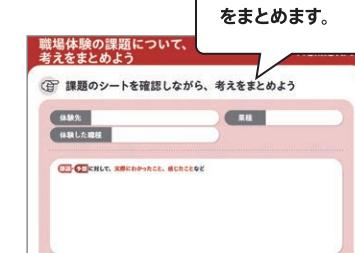
5 体験を振り返り、考えをまとめる

活動
内容

体験を通して得た気づきや課題の解決策をカードに入力し、ボード上で交流。まとめカードを共有しながら、働く意味やお金に対する多様な見方に触れます。

POINT

仲間との協働で「納得解」を見つけるプロセスが、キャリアを自分ごとにする出発点となる。



すべての学びを通して考えをまとめます。

！ 安部先生のヒント

体験を共有し協働的にまとめることで、多様な視点から“納得解”を見つけられます。ここからキャリアを自分ごとにできます。